エネルギー起源CO2排出削減技術評価・検証事業のうち
既存インフラ等を活用した再エネ普及加速化事業（一部国土交通省連携事業）

環境省

【令和２年度予算（案） 200百万円（200百万円）】

ダム等の既存インフラ等の活用により、再生可能エネルギーの普及拡大を加速化します。

1. 事業目的

① 既存のダム及び砂防堰堤等を活用した水力発電量の拡大を図る。

② 既存の鉄道架線の活用、道路等への電線新設による系統制約の克服や、河道内のバイオマスの利活用等によるエネルギーの更なる有効利用を図る。

2. 事業内容

温室効果ガス排出量の削減目標達成に不可欠な再生可能エネルギーについては、更なる普及拡大を図る必要があるが、適地や系統の制約により導入が進まない状況が見込まれる。他方で、既存のダム、河道、鉄道、道路等を新たな視点で捉え、最大限普及拡大や系統制約を克服するための本格的な検討は行われていないため、本事業では下記の検討・検証を行い、再生可能エネルギーを普及拡大する方策を確立することを目指す。

【ダム】

- 水力発電が現行では整備されていないダムについて、事業化検討等を実施。
- ダムの運用見直し、ビッグデータ等の活用による発電ポテンシャル向上手法等について、検討・検証を実施。

【既存インフラ等】

- 既存の鉄道架線の活用、道路等への電線新設等による系統制約の克服や、河道内のバイオマスの利活用等によるエネルギーの更なる有効利用のための方策の検討・検証を実施。

3. 事業スキーム

■事業形態　委託事業

■委託先　民間企業等

■実施期間　平成30年度～令和２年度

4. 事業イメージ

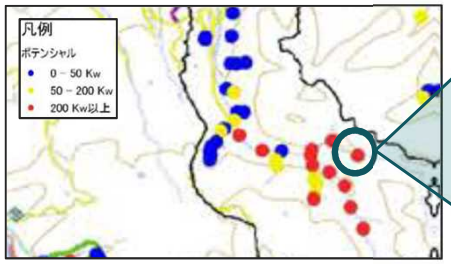
≪既存のダム等への水力発電設備の設置≫

≪運用見直し等による発電ポテンシャル向上≫

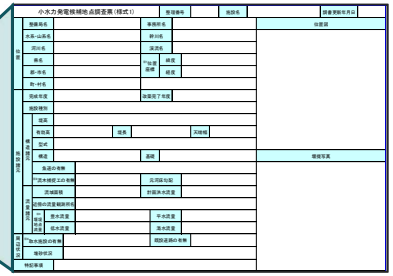
↓

≪既存の鉄道架線の活用、道路等への電線新設等により、ダム等を有効活用するための系統制約克服を図る検証≫ → 電力の需要地

≪砂防堰堤の発電ポテンシャル調査≫



[小水力発電ポテンシャルマップ]



[砂防堰堤に関する情報]

お問合せ先： 環境省 大臣官房 総合政策課 環境研究技術室 電話：03-5521-8239